

# 大阪大学大学院高度副プログラム 予測社会医学プロフェッショナル育成コース

医療環境を改善するために新しいシステムを適用しようとするとき、システム導入による影響をシミュレーションし、その結果をふまえてシステムを修正し、現場に応用します。さらにはシステム運用の結果として生じた影響を検証し問題点を克服するためのシステム修正を行います。このようなプロセスが、より良い医療システムの構築には必須です。

このコースでは、公衆衛生学・実験経済学・基礎統計学を基本に理解し、それらを融合した医療経済を、実践的研究を通じて学ぶ場を提供します。

## 11単位以上の修得で修了認定

◎必須科目5単位と  
●選択科目から6単位修得

- ◎ 予測社会医学特論（医学系研究科）1単位
- ◎ 公衆衛生看護学特論（医学系研究科）2単位
- ◎ 統計基礎（経済学研究科）2単位
- 医療経済・経営入門（医学系研究科）2単位
- 国際健康政策学（医学系研究科）2単位
- 数理保健学特論（保健学）2単位
- 医療経営学特論（保健学）2単位

詳しくはMEIセンターホームページにて





# 予測社会医学特論

授業コード 250275

日本中どこに住んでいても安心できる  
産科医療体制の確立

未来のお母さん、

生まれてくる赤ちゃん、

そして産科医療の現場、

みんなにとつて優しい、

持続可能な

これからの医療を

一緒に考えませんか？



新生児医療

過疎化

医師不足

適正化

リソース配分

センター化

母子に優しい医療

限りある財源

地域間格差

人口減少社会

医療費の高騰

効率化

学部を問わず履修できます。

詳しくはMEIセンターwebサイトにて  
TEL : 06-6879-3384



## 予測社会医学プロフェッショナル育成コース

「患者からはじまる医療」のシステムを構築するには、医師・医学研究者が受けてきた旧来の医学教育の枠を超えて、社会学・経済学的視点に立った幅広い問題解決能力が要求されます。

少子高齢化の中で悪化する医療環境を改善するため、新しいシステムを適用しようとするとき、システム導入による影響をシミュレーションし、その結果をふまえてシステムを修正し、現場に応用する。さらにはシステム運用の結果として生じた影響を検証し問題点を克服するためのシステム修正を行う。このようなプロセスが、より良い医療システムの構築には必須である。ただ単に欧米の医療システムを、現場を無視して安易に取り入れるだけではかえって混乱を招くだけで何の解決にもならない。このコースでは、公衆衛生学・実験経済学・基礎統計学を基本的に理解し、それらを融合した医療経済学を、実践的研究を通じて学ぶ場を提供する。

授業コード	授業科目名	開講研究科	開講時期		単位数	◎ 必修科目 ○ 選択科目
			春夏	秋冬		
250275	予測社会医学特論 (注)	医学系研究科医科学	通年		1	◎
255211	公衆衛生看護学特論	医学系研究科保健学		<input type="checkbox"/>	2	◎
230937	統計基礎	経済学研究科	<input type="checkbox"/>		2	◎
251502	医療経済・経営入門	医学系研究科医科学		<input type="checkbox"/>	1	○
251515	国際健康政策学	医学系研究科医科学	<input type="checkbox"/>		2	○
251513	国際感染症学	医学系研究科医科学	<input type="checkbox"/>		2	○
255101	数理保健学特論	医学系研究科保健学	<input type="checkbox"/>		2	○
255129	医療経営学総論	医学系研究科保健学		<input type="checkbox"/>	2	○

(注) 「予測社会医学特論」の履修登録は、春期科目の履修登録期間に行ってください。

修了要件 必修科目5単位、選択科目から6単位以上の11単位以上を修得すること。